



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 225
December
2011

トピックス

災害情報

2011年タイ大洪水について

国際会議への参加

▶ 第二回安全会議(カタル)

▶ 災害危機管理のための宇宙技術国連国際会議(北京)

お知らせ

第8回センチネルアジアシステム操作研修

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2011

●災害情報

2011年タイ大洪水について

過去に類をみない被害

本年は発生した2つの大災害、東日本大震災とタイの大洪水は、災害の種類別や被害の規模・態様において異なるものの、新たな課題を浮き彫りにしたという共通点があり、アジア防災センター(ADRC)としても引き続き状況の把握に努めています。このうちタイの大洪水について、今後の復旧・復興過程における協力の必要性・可能性を把握するため、バンコクにて関係機関との意見交換、現地視察を行いましたので、その一旦を紹介いたします。



今回のタイの大洪水は、10月頃よりチャオプラヤ川に沿って徐々に南下し、中部地域のアユタヤや首都バンコクの周辺地域を中心として甚大な人的・経済被害をもたらし、現在もなお南部地域で拡大しています。中部地域・南部地域で約1.8百万世帯、約4.7百万人が洪水の影響を受け、死者684人、行方不明者3人と報告されています(12月6日時点、タイ内務省防災・減災局)。

12月初めの時点では、中部の多くの地域で水位が下がってきており、一旦冠水したアユタヤの工業団地でも排水作業が進捗し、工場再開を伝える報道も聞かれています。しかしながら、将来の洪水の危険性が解消したわけではなく、また、生産活動を洪水前の状況までに復活するためには、これから多大な時間と投資を要します。現時点の推計では、経済被害額で、東日本大震災が過去の世界中の自然災害の中で第一位、タイ大洪水は第四位(第二位はハリケーンカトリーナ、第三位は阪神・淡路大震災)とされています。これらの経済被害額は実際の建物・施設等への損害を中心としており、長期的な経済活動の低下、逸失利益など影響は十分に反映されていません。特に東日本大震災やタイ大洪水では、グローバル・サプライチェーンの寸断等が、被災国だけではなく海外でも大きな影響を及ぼしたことが特徴となっています。

復旧・復興における課題と取組み

生産ラインを復活させることが急務ですが、機材や専門職員が不足している状況と聞きます。また、将来の洪水に備えるための防御施設の整備や嵩上げ等も必要になります。この間に熟練した従業員を繋ぎとめるとともに、これまで構築してきた供給・流通体制や地元企業等との信頼関係を維持していくためにも多大な苦勞を要します。

多くの援助機関、研究機関等が現地で活動を行ってきており、例えば日本

続き

のJICAでは、緊急援助物資の供与、排水ポンプ車を使った排水支援、洪水被災工業団地にかかる緊急復旧支援や農業セクター支援のための現地調査を実施しています。

アジア防災センターとしての取組み

ADRCでは、タイ国内の関係機関（政府、国連機関、防災機関等）と今後の協力分野について議論を開始していますが、前述の通り、今回のタイ大洪水が企業の生産・流通活動に大きな影響を与えていることに着目しており、可能な軽減手段について検討しています。他にも、企業や住民等への的確な情報提供を含めた災害への備えのあり方や、被災者を一時的に収容する避難所の運営、復興過程における住宅や生活の再建のあり方などについて、日本の過去の経験がタイを始めとして同様の災害危険性のある国々の防災に資するものと考えています。引き続き、現地の状況把握と関係機関との協議を行いつつ活動を展開する予定としています。



●国際会議への参加

第二回安全会議(カタール)

2011年11月14日から16日の3日間にわたり、カタール、ドーハにおいて第三回民間防衛展覧会及び会議がカタール政府主催で開催され、そのサイドイベントとして第二回安全会議(フォーラム)が行われました。フォーラムには、同国及び海外から防災にかかわる行政関係者及び専門家7名が講師として招かれ、ADRCも参加しました。

フォーラムでは、ADRCが東日本大震災概要及び教訓についての講演を行ったほか、気候変動、高層ビルの災害に関する課題、情報伝達などを含む人為災害、自然災害に関する広範な話題の講義が行われました。

フォーラムには、200名を超えるカタールの政府関係者、専門家、マスコミ関係者が参加し活発な意見交換が行われ、防災に対する関心の高さがうかがわれました。



災害危機管理のための宇宙技術国連国際会議（北京）

2011年11月22日から25日の4日間にわたり、中華人民共和国の北京において、災害危機管理のための宇宙技術国連国際会議が開催され、ADRCからも参加しました。この会議には、世界各国より政府関係の防災担当者、リモートセンシングを中心とする宇宙関係機関の専門家、学識経験者や防災NGOなど100名以上が集まりました。

会議では、以下のサブテーマで話題提供がなされ、積極的な議論が行われました。

- ①災害管理のための地球規模の空間資源
- ②災害危機管理や応急対応に資する基盤
- ③即時対応地図
- ④世界／地域規模の即時地図の構想や実践
- ⑤災害危機管理における宇宙情報戦略

続き

この中でADRCは、「センチネルアジアにおけるアジア防災センターの活動と東日本大震災における衛星画像の有効性」と題した発表を行い、アジア諸国と協力・連携した人工衛星による災害時の緊急観測の取り組みと、その枠組みの中での東日本大震災時の対応について話題提供

●お知らせ**第8回センチネルアジアシステム操作研修**

第8回センチネルアジアのシステム操作研修に関して、宇宙航空研究開発機構(JAXA)から参加者の募集がありました。〆切は来年1月6日、場所はタイのカセサート大学です。

<https://sentinel.tksc.jaxa.jp/sentinel2/capaBuild.action>

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。